



法学検定試験が変わります！

● 法学検定試験リニューアルのコンセプト・主な変更点

- 法科大学院時代に合わせた制度設計に
法科大学院設置後の学部教育に合わせて、より基本科目を重視することにしました
- 従来の2級を3年次から受験できる制度に
いわゆる発展科目を減らし、3年次から十分チャレンジできるようにしました
各科目の問題レベルには大きな変更はありません
- 名称を変更
4級 → ベーシック〈基礎〉コース
3級 → スタンダード〈中級〉コース
2級 → アドバンスト〈上級〉コース
- 検定料を下げ受験しやすく
検定料の値下げ
2級=12,600円 → アドバンスト〈上級〉コース=9,450円
併願割引制度をスタート(*従来の2級の受験料で、スタンダードとアドバンストを同日受験できます！)
4級+3級=10,500円 → ベーシック・スタンダードセット=8,400円
3級+2級=18,900円 → スタンダード・アドバンストセット=12,600円

● 各コースの変更点

- 4級→ベーシック〈基礎〉コース（法学部2年次程度）
試験科目：法学入門10問、憲法15問、民法20問、刑法15問
【変更点】憲法を5問増、刑法を5問減
- 3級→スタンダード〈中級〉コース（標準的な法学部3年次程度）
試験科目：法学一般10問、憲法15問、民法20問、刑法15問、選択A15問
*選択Aから1科目を当日選択
【変更点】級内のコース別を廃止し、法学・憲・民・刑を必須としました
民法以外の問題を5問ずつ減らし、受験科目を4科目から5科目に変更
- 2級→アドバンスト〈上級〉コース
（法曹を目指す等学習の進んでいる法学部3年次および法学部修了程度）
検定料：9,450円（税込）としました
試験科目：法学基礎論5問、憲法・民法・刑法・選択2科目各10問
*法学基礎論：法哲学・法社会学・日本法制史・司法制度論から2問ずつ、
法的思考の基礎・比較法から1問ずつの計10問から試験中に5問選択
*選択はAから1科目、ABすべてからもう1科目を当日選択
【変更点】級内のコース別を廃止し、法学・憲・民・刑を必須としました
法学基礎論の出題範囲を狭くしました
出題科目については3年次生から対応できるレベルでの出題となります
より発展的な科目（租税法・国際取引法・環境法）を対象から外しました

[選択科目] 選択A：民事訴訟法・刑事訴訟法・商法・行政法
選択B：労働法・倒産法・経済法・知的財産法